

# 給食たより

令和6年12月23日  
江戸川区立西一之江小学校  
校長 川浦 孝彦

<栄養目標>おやつのと리카たを考えましょう

<給食目標>ていねいに食器を扱きましょう

今年度の給食も残り47回となりました。今年も好き嫌いをなくしっかり食べて、丈夫な体を作りましょう。1月24日～30日は、学校給食週間です。この週間は、学校給食について考える期間とされています。学校給食の歴史について、そして、今月の行事食を紹介します。



9日 七草うどん

「せり、すずな、すずしろ」と使用したうどんです。「邪気を払い万病を除く」は古くからの言い伝え。また、お正月で疲れた胃を休め、不足しがちな栄養を補うともいわれています。

## 1月24日～30日は、全国学校給食週間です!

日本の学校給食は、明治22年、山形県鶴岡町(現：鶴岡市)の私立忠愛小学校で提供されたのが始まりとされています。その後、各地に広まったものの、戦争による食料不足で中断されてしまいました。戦後、子どもたちの栄養不足を改善するため、昭和21年にアメリカの支援団体「LARA(アジア救済公認団体)」から、給食用物資の寄贈を受けて、翌年1月から学校給食が再開されることになりました。昭和21年12月24日に、東京都内の小学校で給食用物資の贈呈式が行われたことから、この日を「学校給食感謝の日」としましたが、昭和25年度からは、冬季休業と重ならない1月24日～30日までの1週間を「全国学校給食週間」とすることが定められました。

全国学校給食週間を通して、学校給食の意義や役割などを皆さんに知ってもらい、学校給食についてあらためて考える機会にしてほしいと思います。



### 学校給食の移り変わりを見てみよう!

明治22年	戦後(昭和20～30年代)	現在
<p>私立忠愛小学校で提供されたとされる給食。</p>	<p>支援物資の脱脂粉乳や缶詰、小麦粉などを使った給食。</p>	<p>地域でとれる旬の食材を取り入れ、郷土料理や行事食、世界の料理など、食育の教材となる給食。</p>